

MVN 2019 リリースノート

新バージョン	■MVN 2019 ■Awinda システム:AW-A2 FW 4.3.5, AW-DNG2 FW 4.3.5, MTw2 FW 4.3.5 ■Link システム:BPack FW 1.1.9, MTx2 FW 1.1.9 ■FirmWare Updater:4.2.6
旧バージョン	■MVN 2018.2 2018/8/1 ■Awinda システム:AW-A2 FW 4.3.5, AW-DNG2 FW 4.3.5, MTw2 FW 4.3.5 ■Link システム:BP FW 1.1.8, MTx2 FW 1.1.8 ■FirmWare Updater:4.2.1
リリース日	2018/10/31
アイコンの意味	[+]追加機能、[^]変更機能、[!]注意点、[#]修正点、[-]削除機能

1. イントロダクション

このリリースノートには、新しい MVN Analyze / Animate バージョン 2019 の詳細が含まれています。この最新のリリースには、新機能や改善点、最新のバグ修正に関するアップデートが含まれています。

注：MVN 2019 より前のバージョンを使用している場合は、新しい機能と安定性の更新を活用するために、MVN システム (MVN Link / MVN Awinda) でファームウェアを更新する必要があります。Firmware Updater 4.2.6 (FWU) をダウンロードしてください。

2. メジャーアップデート及び新機能

2.1 MVN

- + Multi Level シナリオの HD リプロセッシング (HD Reprocessing) 機能。
- + 中国語 GUI の追加。
- + オンボディレコーディング (OBR) 収録した.MVN ファイルのトラッカーズワップ機能。(例：手と足のセトラッカーをスワップ)
- + 一つのグラフで複数プロットの表示可能。
- + 骨盤 (Pelvis) と頭 (Head) の Linked-Segment-Model (LSM) の改善。
- + ヒールストライク (Heel strike)、フットコンタクト (Foot contact)、トーオフ (Toe off) を含めるコンタクトポイントの再定義。

3. バグ修正

3.1. MVN

- # 書き出し (Export) した.FBX と.BVH の指トラッキングデータが同じ結果を出すように修正。
- # グローブを使用する際に常に表示される赤いエラーメッセージの削除。
- # グローブの接続が外れた際にステータスアイコンが適切に更新される。
- # グローブの ID が File > Properties > Hardware info に表示。
- # XME をライセンスなしでプロジェクトで使用可能。
- # コンフィグレーションのスイッチング中、MVN がクラッシュしない。
- # MVN SDK スタートメニューでデバッグビジュアライザを提供。

3.2 ファームウェア

ファームウェアを最新版にアップグレードすることをお勧めします (上記を参照)。

4. マイナーアップデート

4.1 MVN

- + アッパーボディコンフィギュレーション (Upper Body Configuration) の際、No level シナリオが基本選択される。(Single Level シナリオは選択不可) アバターのドリフトを軽減。
- + MVN Analyze/Animate にエルゴノミクス (Ergonomic) 関節角度が追加。そのデータは.MVNX ファイルに書き出し可能。
- + データをリプロセッシングする際、他のファイルに一括書き出し (Batch Export) しなくてもできるよう、一括リプロセッシング (Batch Reprocessing、HD/Fast) 機能を追加。

- +一括書き出し(Batch Export)で指定出力フォルダにリプロセスした.MVN ファイルを保存。
- +骨盤 (Pelvis) に対する体のセグメントの相対的モーションパスを表示するオプション追加。
- +キャリブレーション指示メッセージの追加。